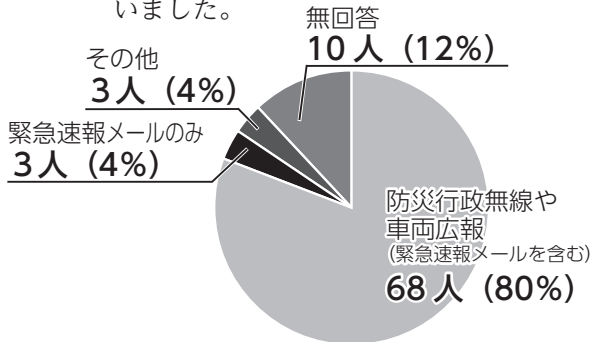


アンケート調査

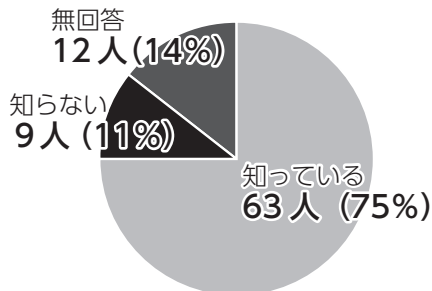
▼ 情報伝達手段

防災行政無線や車両広報の聞こえは、約80%の人が防災行政無線による放送やサイレンをきっかけに避難行動を開始していました。



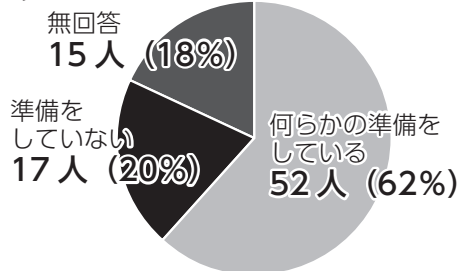
▼ 津波ハザードマップの認知

津波ハザードマップについては、70%以上の人が知っていましたが、一方10%程度の人が知らないと回答。



▼ 災害への備え

災害への備えとして、全体の約60%の人が何らかの準備をしていましたが、約20%の人が準備をしていないことがわかりました。



調査結果を踏まえて

津波浸水予測

平成24年6月に北海道が、東日本大震災を踏まえ、さまざまな仮定のもとに北海道太平洋沿岸の最大クラスの津波浸水予測を行った結果、洞爺湖町への第1波の予想到達時間は79分で、津波の高さが最大で7.2mと予測されています。

この浸水予測のもとに町では、平成24年10月に「津波ハザードマップ」を作成し、津波浸水想定区域内の各家庭に配布。以降、毎年津波避難訓練を実施しています。

今回の調査から

今回の調査では、地震発生から15分後には全員が避難行動を開始し、36分後には全員が避難を完了するなど、津波予想到達時間内に対し、余裕をもって避難できていました。

一方、アンケート調査によると、日頃から災害への備えをしていない人が2割程度いることも判明しました。ほとんどの津波は、大きな地震が伴うことも忘れてはいけません。家具を固定することにより、家具の下敷きによるけがや家具の転倒で出入り口を塞ぐことによる逃げ遅れなどが防止され、直ぐに避難行動を開始することができます。

防災行政無線は、1割の人が聞こえなかったと回答。避難を呼びかけるなど、命に関わる放送には必ず消防サイレン吹鳴が伴います。音声による放送は気象条件によっては聞こえにくい場合もありますが、サイレン音は音声放送に比べよく聞こえますので、サイレン音を聞いたときは、緊急速報メールやテレビ・ラジオによる情報に注意してください。(毎月1日と15日の午後7時にサイレンの試験吹鳴を行っています。)

日頃から確認しておきましょう

町では、海岸線から津波が到達しない安全な場所まで、おおむね400mとなっています。避難経路上には国道37号や鉄道があり、線路を横断することができる踏切や高架橋は、7箇所しかありません。日頃から津波ハザードマップを確認し、自宅から津波が到達しない安全な場所までのルートを確認しましょう。

調査結果は、今年度中に策定予定の津波避難計画へ反映することとしています。計画策定後は、あらためて皆さんにお知らせします。

気象台からの防災メモ



大雨による土砂災害や水害から身を守りましょう

盛夏から秋にかけて大雨が降りやすくなり、いろいろな災害が発生します。

大雨による災害は、地盤が緩んで発生する土石流やがけ崩れなどの「土砂災害」、短い時間の局地的な大雨による低い土地での「浸水害」、河川の増水やはん濫といった「洪水害」があります。

気象台では、大雨による「土砂災害」や「浸水害」のおそれがある場合に「大雨警報・注意報」を、洪水による災害のおそれがある場合に「洪水警報・注

意報」を発表します。気象台ホームページでは、「警報・注意報」の本文中で、どんな災害に警戒・注意すべきかと期間をお知らせします。

大雨警報発表中で、土砂災害が発生する危険性がより高まったときには、「土砂災害警戒情報」を発表します。この場合はより一層の警戒が必要です。

町が配布する防災マップなどに日頃から目を通し、警報が発表されたら警報の種類に応じた適切な対応をとってください。

普段の備えと、警報・注意報などの気象情報を上手に使うことで、気象災害から身を守りましょう。

■問合せ 室蘭地方気象台
(☎ 0143-22-4249)





津波避難訓練で実施

GPS 調査結果

■問合せ 企画防災課防災グループ (☎ 74-3004)

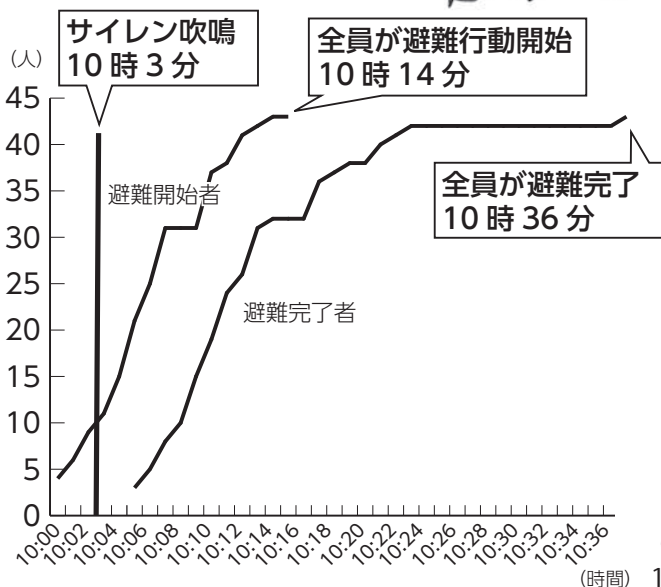
3月23日の津波避難訓練で室蘭工業大学の協力で実施した、GPS調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。

避難訓練の参加者は133人、アンケート調査に回答を寄せた人が84人です。また、GPS調査には43人が協力しました。



▼参加者の状況 (単位:人)

| 避難集合場所 | 参加者 | |
|----------|---------|--------|
| | アンケート回答 | GPS協力者 |
| 清水集会所 | 0 | 0 |
| 虻田神社 | 56 | 13 |
| 役場駐車場 | 14 | 14 |
| 健康福祉センター | 8 | 8 |
| 母と子の館 | 26 | 23 |
| 入江4区集会所 | 3 | 3 |
| 入江貝塚公園 | 11 | 11 |
| 入江集会所 | 9 | 6 |
| 下水道終末処理場 | 4 | 4 |
| トレイルセンター | 2 | 2 |
| (訓練従事者) | - | - |
| 合計 | 133 | 84 |
| | | 43 |

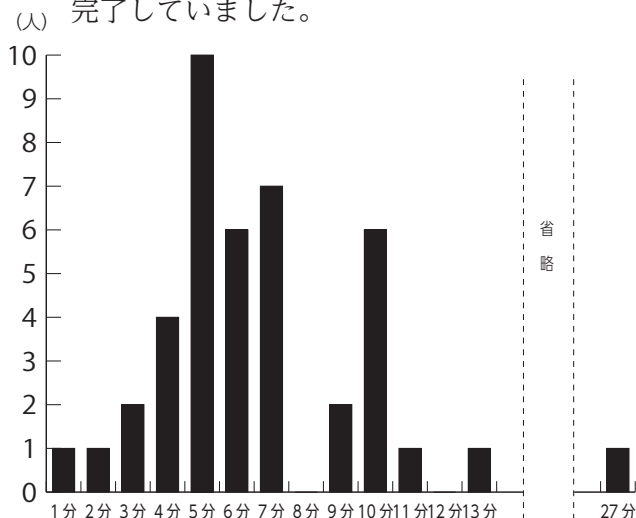


GPSによる実測

◀避難行動時間

10時に地震が発生し、避難指示を呼び掛けるサイレンが10時3分に吹鳴するまでの間に11人(26%)が避難し、10時14分には全員が避難行動を開始していました。

10時15分までの間には、32人(75%)が避難を完了し、10時36分には全員の避難が完了していました。



▶避難所に到着するまでの時間

避難所に到着するまでに要した時間は、5分前後が20人、10分前後が9人で、40人(約93%)が自宅を出てから10分前後で避難集合場所に到着していました。

▼想定時間と実測時間の差

アンケートによる想定時間とGPSによる実測時間の差による調査では、全体の半数近くの人が、想定よりも時間がかかっていましたが、大きな乖離は無く、約90%の人が±5分以内に集中していました。

